

05 友人からの刺激、囲碁への再出発

Q/ 囲碁とはどのような競技ですか

A/ 囲碁は簡単にいうと黒と白の石を交互に並べて陣地を囲むゲームですが、相手の石を囲めばその石を取ることができるなど複雑で奥深い競技だと思います。

B.A.さん

第18回全国高等学校囲碁選抜大会
女子9路盤戦 準優勝



Q/ 囲碁を始めたきっかけは何ですか

A/ 囲碁を始めたきっかけは、母の知人がプロの囲碁棋士で、わたしの性格が囲碁に向いているとすすめてくださったからです。小学2年生のときに母に連れられて囲碁教室に通い始めました。



大会の様子。

Q/ 囲碁の魅力は何ですか

A/ 囲碁は将棋やチェスと違って碁石（将棋でいう駒のようなもの）の動く方向が定められておらず、自分の好きなところに置くことができます。碁盤も大きく、自由に自分の打ちたい碁を打つことができ、対戦するたびに全く違う形になるのが囲碁の魅力だと思います。囲碁は難しく堅いイメージを持たれがちだと思いますが、実際にはのびのびと好きなように打つことができ、打つ場所が少し変わるだけで多種多様な変化が生まれるため、非常に奥深く面白いです。また、2対2で対戦するペア碁や3人以上で行う団体戦などもあり、友達とも盛り上がることもできる楽しい競技だと思います。

Q/ 女子高のどんなところが囲碁の活動に繋がりましたか

A/ 中学受験を機に囲碁から離れ、中学の頃は一切囲碁に触れておらず、もうやることはないと思っていました。囲碁は暗いイメージをもたれるのではないかと思います。囲碁をやっていたことも周囲には隠していました。ですが、女子高に入学して、勉強の他にもスポーツや芸術など様々な才能にあふれ、自信に満ちている周囲の子たちをみて影響を受け、もう一度囲碁を頑張ってみようと思いました。

Q/ 囲碁は何年間続けていますか

A/ 小学2年生の頃から始めましたが、中学受験以降は離れていた期間があるため計8年程度になります。



女子高生紹介



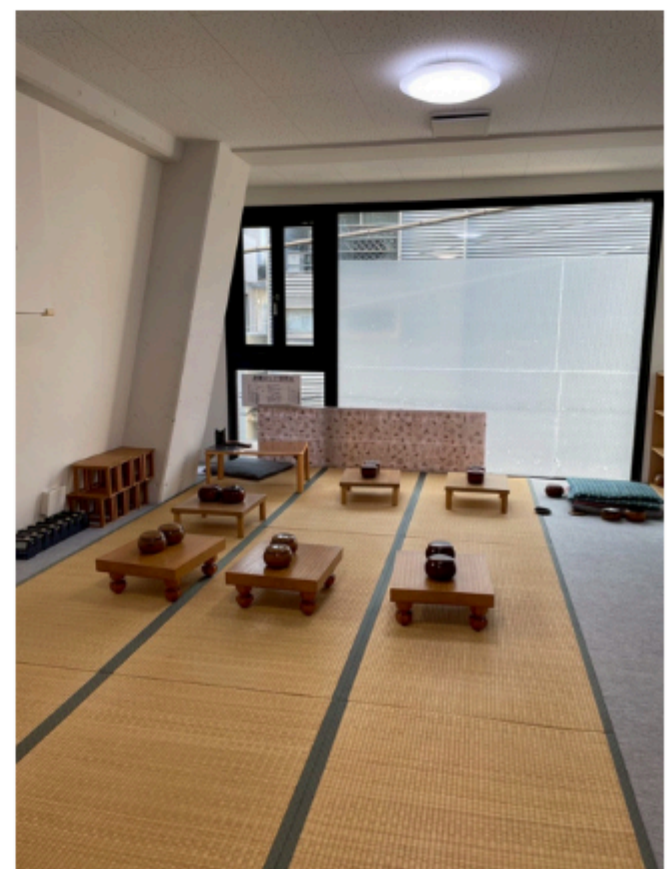
試合の様子。

Q/ 集中力の秘訣は何ですか

A/ 日常生活では集中力があまりなく、気移りしやすいほうなのですが、大会の熱気に包まれると不思議と集中することができます。緊張してそわそわしてしまうときには自分の勝つところをイメージすることで目の前の対局に集中できると思います。

Q/ 普段の練習量はどのくらいですか

A/ 女子高には囲碁部がないため、他の大学の囲碁サークルの活動に週に1度、友達の高校生数人と一緒に参加させていただいていました。大学生の方々に優しく丁寧に指導していただき、学びの多い時間でした。大会前にはそれに加えてオンラインで世界中の人と毎日対戦していました。



練習場

Q/ 練習中の困難等はどう立ち向かい、乗り越えていますか

A/ 普段は対局メインで練習していますが、負けが続くと気分が落ち込んだり、自信を無くしたりすることもあります。その際には棋譜並べや詰碁などの対戦形式ではないものを行ったり、友達と喋りながら打ったりすることで弱点や課題点を洗い出したりすることが多いです。



Q/ 大会と女子高生活をどのように両立させていますか

A/ 大会が試験の直前や直後にあることも多く大変でしたが、囲碁は直前にやりこむよりも普段からこつこつ積み重ねることが大切なので、通学時間や休み時間を活用して詰碁を解いています。

Q/ 大会前のルーティンがありますか

A/ 大会前はなるべくいつも通り過ごすことを心がけています。また、囲碁は競技人口が少なく大会に出ている子達とはすぐに仲良くなれるので、開会式までの時間に友達と話すことでリラックスして対局に臨むことができると思います。